





令和８年 熊本地震に関する九州地方整備局の活動状況

九州地方整備局
Kyushu Regional Development Bureau

～ 被災地に寄り添い、現場力を結集した復旧・復興への取り組み ～













【目　次】

1. 令和8年熊本地震の概要
2. 地震発生後の初動体制、緊急調査
（TEC-FORCEによる被災状況調査・自治体支援、リエゾン派遣、防災ヘリによる調査等）
3. 被災状況・応急復旧等（道路、河川、砂防、港湾、官庁施設）
4. 被災地・自治体支援
（照明車・防災用コンテナ型トイレ派遣、給水車による給水支援等）
5. 建設業界の活躍
6. SNS等による情報発信
7. 国土交通大臣による視察

1.令和８年熊本地震の概要

九州地方整備局
Kyushu Regional Development Bureau

○令和8年7月28日、16時27分頃、熊本県熊本地方でマグニチュード7.1（暫定値）の地震が発生。
熊本県宇城市及び氷川町で震度7を観測。

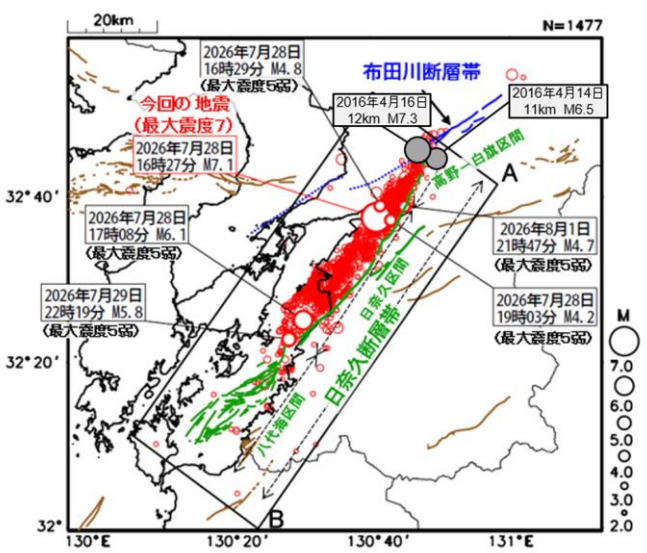
○今回の地震発生以降、8月5日12時00分現在、この地震による地震活動域で、震度1以上を観測した地震が536回発生（震度7：1回、震度5弱：5回、震度4：19回、震度3：54回、震度2：140回、震度1：317回）

■震度分布図

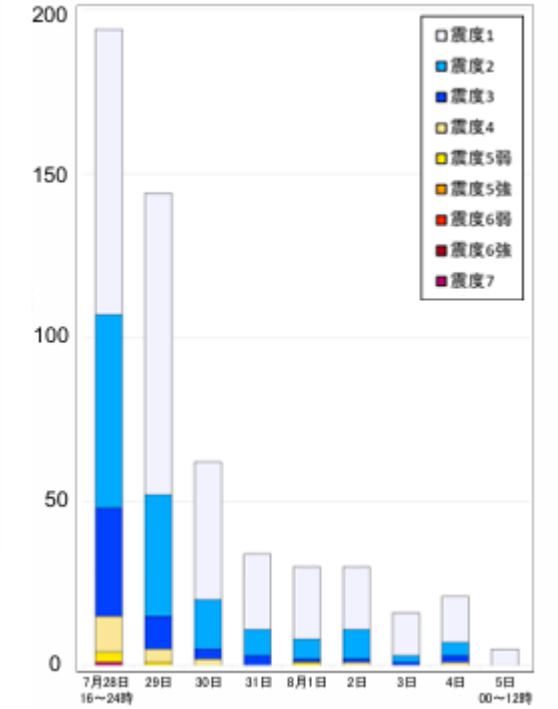


▲ 気象庁発表「地震の概要（ 8/2 13時時点）」より

■震央分布図



■震度1以上の地震回数グラフ
（8月5日 12時現在）



■震度1以上の地震回数
（8月5日 12時現在）

震度	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	合計
回数	317	140	54	19	5	0	0	0	1	536

※掲載している地震回数は速報値であり、後日の調査で変更になることがあります。



▲ 日本製紙煙突崩壊を防災ヘリ「はるかぜ」より撮影

▲ 気象庁HP（202607281627_jishingaiyou.pdf）より

2.地震発生後の初動体制、緊急調査（TEC-FORCE、リエゾン派遣）

○7月28日16時27分頃に地震が発生後、同時刻に災害対策本部を立ち上げ、非常体制を発令。
○一刻も早い被災状況の把握と災害復旧対策の技術的支援を行うため、7月28日から熊本県庁、八代市、宇城市、宇土市、上天草市、天草市、氷川町、甲佐町などに「TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）」及び「リエゾン」を派遣。

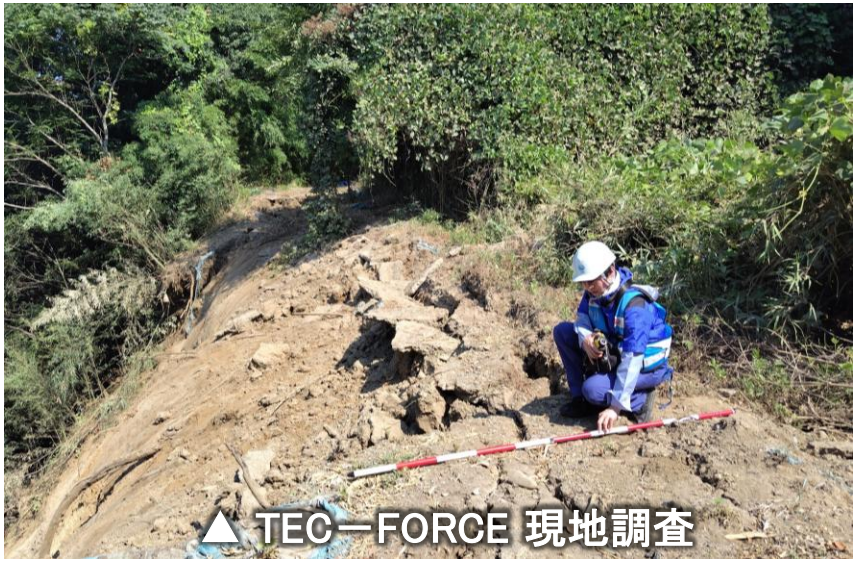


▲ 直ちに、災害対策本部立ち上げ　情報収集



▲ TEC－FORCE・リエゾンを派遣


▲ TEC－FORCE 現地調査


▲ TEC－FORCE 現地調査

2.地震発生後の初動体制、緊急調査（全国初TEC-FORCE予備隊派遣）

○ 7月28日、熊本県宇城市、氷川町における震度7の地震発生により、熊本県で甚大な被害が発生。
○ 7月30日から全国初の「 TEC-FORCE予備隊」を、被災地に派遣し、被害を受けたインフラ等の調査を開始。

※「TEC－FORCE予備隊員」とは、災害対応に係る専門的な知識・経験を有する方が、災害時に非常勤職員の国家公務員として
TEC－FORCEの一員となり被災地等で活動する仕組み。

X投稿



▲ 八代市役所で調査個所の打合せ



▲ 松本橋（氷川町）の被災状況調査


▲ 被災状況調査



▲現地で復旧に向けた技術的助言

2.地震発生後の初動体制、緊急調査（防災ヘリによる調査）

○ 7月28日から防災ヘリコプター「はるかぜ（九州地整）」「愛らんど（四国地整）」「きんき（近畿地整）」「おりづる（中国地整）」による道路、橋梁、堤防、港湾などの被災状況の上空調査を10回以上実施。被災した自治体にリアルタイムで情報を提供。



▲ 路面ずれ（九州自動車道八代IC付近）



▲ 球磨川堤防ひび割れ



▲ 橋桁ずれ（九州自動車道八代JCT付近）



▲ 被災状況を各自治体に迅速に提供

2.地震発生後の初動体制、緊急調査（ドローン調査）

○8月4日、甲佐町の要請に基づき、土砂崩落箇所に九州地方整備局のドローン調査班、通称BlueHawksを派遣し、被災状況調査を実施。調査映像および点群データを用いた3Dデータを甲佐町に迅速に提供。



▲ドローンの飛行ルートを確認



▲ドローンを点検



▲ドローンの飛行状況



▲ 土砂崩落箇所の3次元点群データ

2.地震発生後の初動体制、緊急調査（全国各地から支援）

○ 全国各地の整備局からTEC-FORCEが集結。全国一丸となり、調査や支援に協力。



▲九州派遣に向けた出発式



▲ 全国のTEC-FORCE隊による給水支援活動



▲複数地整を集めての調整会議



▲ 他地整から派遣の防災ヘリコプター

2.地震発生後の初動体制、緊急調査（TEC-FORCE活動状況）

九州地方整備局 Kyushu Regional Development Bureau

○全国から国土交通省TEC－FORCEが集結し、被災状況調査や、給水・トイレ及び電源支援等の災害対策機械による応急対策の技術支援を実施。
○令和8年10月5日時点で、6市4町を中心に他のべ約6，300人・日で活動を展開（リエゾン等含む）

被災状況調査

▼ヘリによる上空からの被災状況調査及び映像の提供



▼橋梁の被災状況調査



▼デジタル機器を用いた被災状況調査



▼岸壁背後の被災状況調査



▼ドローンによる被災状況調査



▼TEC-FORCE出発式（8/18）



【熊本県】
・現地災害対策本部（連絡調整等）　・被災地上空調査
・機械操作、映像撮影、情報通信　・JETT等の派遣　等

【熊本市】
・被災状況調査（熊本城公園）
・給水支援

【宇土市】
・被災状況調査（河川）
・給水支援

【嘉島町】
・照明車支援
・給水支援

【宇城市】
・被災状況調査（河川・道路）
・給水支援
・船舶による支援物資輸送及び給水・入浴・洗濯支援（三角港）

【甲佐町】
・被災状況調査（道路、のり面）
・応急対策班

【美里町】
・電源支援
・被災状況調査（道路）

▼調査報告書の手交、説明（8/20）





【氷川町】
・被災状況調査（河川）
・給水支援、電源支援

【八代市】
・被災状況調査（港湾・河川・道路）
・給水支援
・船舶による支援物資輸送及び給水・入浴・洗濯支援（八代港）

【天草市】
・被災状況調査（港湾）

【上天草市】
・被災状況調査（港湾）

令和8年10月5日現在：のべ約6,300人・日

被災者支援

▼照明車による人命救助活動の支援



▼断水発生による給水支援



▼防災用コンテナ型トイレの派遣



▼ボランティアセンターへ対策本部車を提供



▼電力復旧までの電源支援





2.地震発生後の初動体制、緊急調査（TEC-FORCEによる報告）

○ 地震発生から1週間、八代市・宇城市・宇土市・上天草市・天草市・氷川町・甲佐町へ河川や道路、港湾の被災状況調査の結果を報告。



▲各自治体との情報共有会議（氷川町）



▲レーザースキャナ測量データ活用（宇城市）



▲被災状況の調査結果を説明（八代市）



△調査結果報告書の手交（5市、2町）

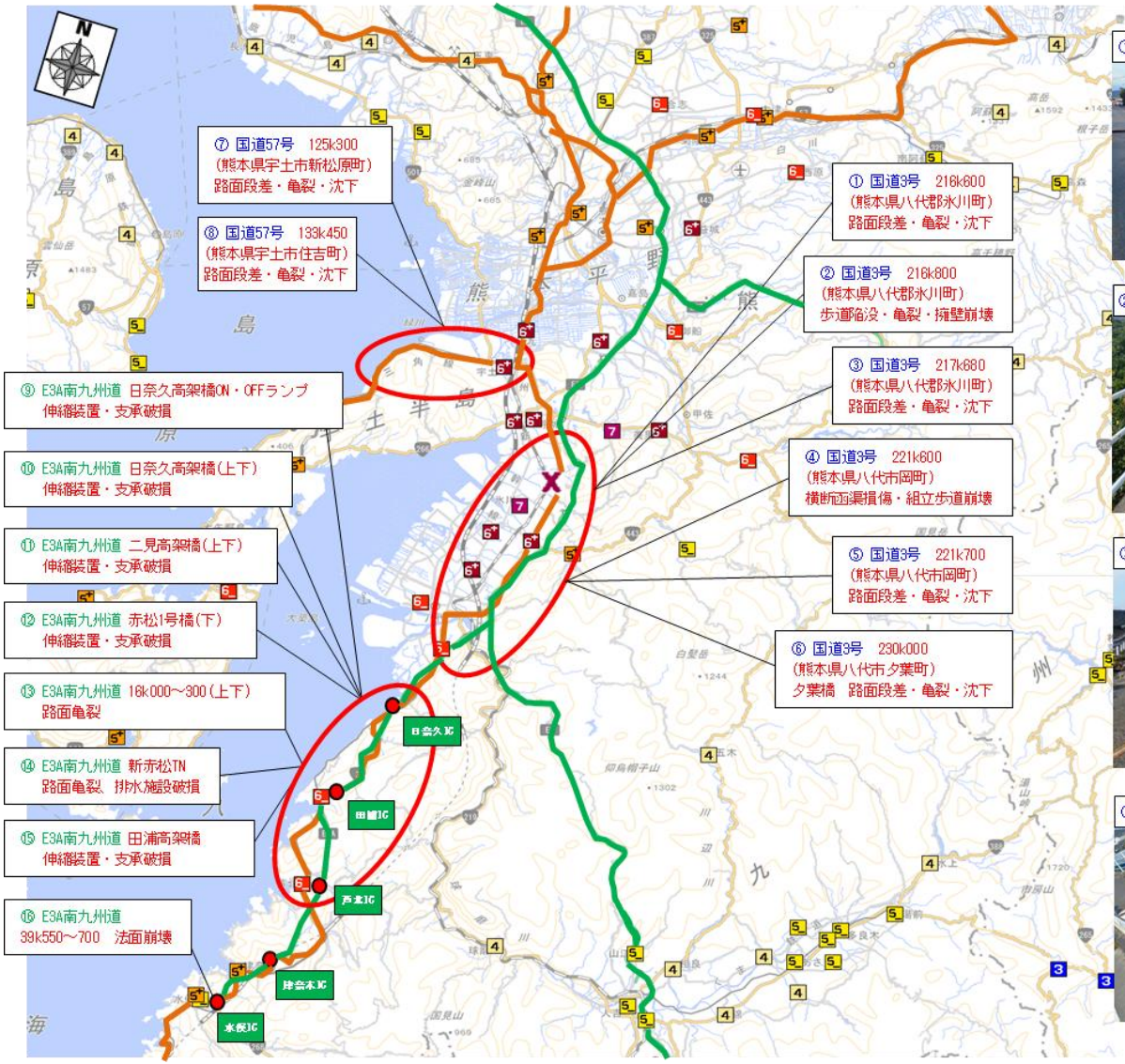
3.被災状況・応急復旧等（道路）

九州地方整備局
Kyushu Regional Development Bureau

○震源に近い、八代市・氷川町に被害が集中し、直轄国道では、16箇所の大きい被害を確認。
（国道3号6件・国道57号2件・E3A南九州道8件）

【広域図】















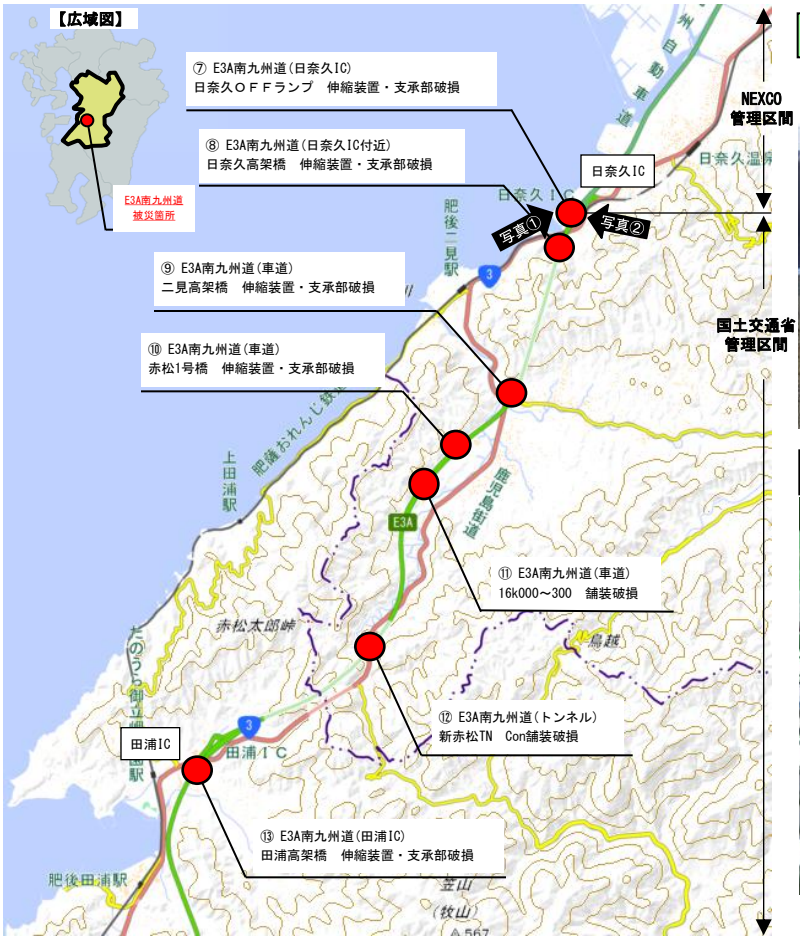




3.被災状況・応急復旧等（道路）

九州地方整備局
Kyushu Regional Development Bureau

○南九州西回り自動車道(日奈久IC～水俣IC)において、高架橋の伸縮装置・支承部の損傷、法面崩壊、
　舗装版の亀裂及び　浮き上がりを確認。
○田浦IC～水俣IC間は、7/29には一般車両通行可能とし交通開放。
○日奈久IC～田浦IC間は、7/30より緊急車両の通行を開始し、8/18に一般車両通行可能とし通行止めを解除。



①被災状況（伸縮装置破損）





②被災状況（支承部破損）





3.被災状況・応急復旧等（道路）

対応状況：南九道（日奈久IC～田浦IC）



7/30　緊急車両のみ通行解放
8/18　一般車両通行解放

7/30　通行解放

発災直後	対策工事状況	対策工事完了	
〈ジョイント部　損傷〉	〈ジョイント部　応急復旧〉	〈ジョイント部　応急復旧完了〉	〈TEC Doctor〉
〈舗装沈下〉	〈沈下　応急復旧〉	〈沈下　応急復旧完了〉	〈対策本部車〉
〈通信ケーブル破損〉	〈夜間作業〉	〈橋梁点検車〉	〈緊急車両通行〉

3.被災状況・応急復旧等（道路）

九州地方整備局
Kyushu Regional Development Bureau

○国道3号(八代郡氷川町～八代市夕葉町)において、舗装版の段差・亀裂及び浮き上がり、横断暗渠の破損、組立歩道の崩壊を確認。
○被災翌日の7／29には一般車両通行可能とし、8/4より「国道3号ピンポイント路面改善作戦」として舗装補修工事を実施。

①被災状況（路面亀裂）



②被災状況（路面段差）





③被災状況（横断函渠破損・組立歩道崩壊）



④被災状況（路面段差・亀裂）



国道3号ピンポイント路面改善作戦状況

第1弾　・車道部の補修工事
・期間：8月4日～8月8日
・8月8日完了

第2弾　・車道部の補修工事
・期間：8月10日～8月15日
・8月15日完了

第3弾　・歩道部の補修工事
・期間：8月19日～8月27日
・8月27日完了

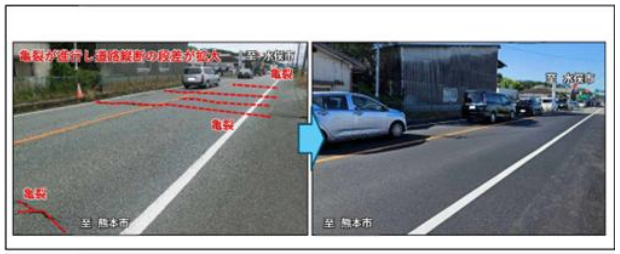
補修前　**補修後**

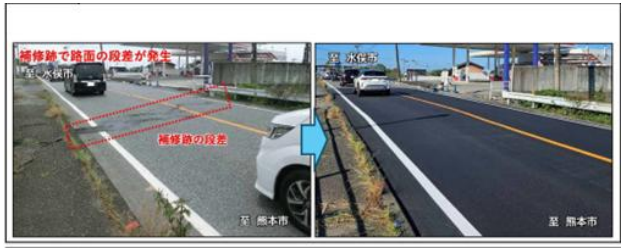






補修前　**補修後**



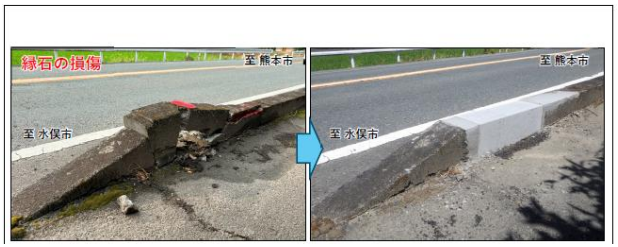




補修前　**補修後**







3.被災状況・応急復旧等（道路）

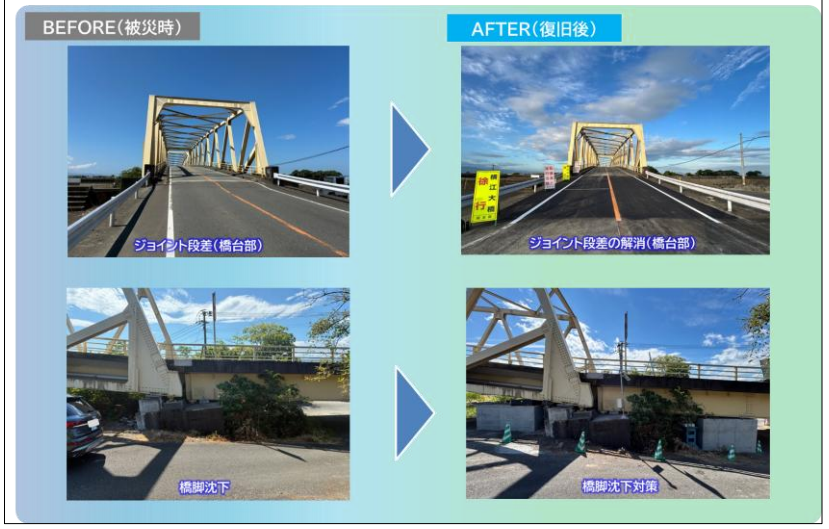
九州地方整備局
Kyushu Regional Development Bureau

○8月17日に県道338号横江大橋が通行可能となったことにより、宇城～八代間を結ぶ主要幹線道路において、地震発災から20日ぶりに4路線（九州自動車道、国道3号、県道14 号、県道338号）が全て通行可能となった。
○また、8月27日に国道219号新萩原橋の全面通行止めも解除となった。

熊本県　宇城～八代間の（縦軸）道路の復旧の見通し



横江大橋の復旧状況（熊本県）



新萩原橋の復旧状況（熊本県）



3.被災状況・応急復旧等（道路）

九州地方整備局
Kyushu Regional Development Bureau

○熊本県域の行政機関や高速道路会社等の道路管理者等で構成する「熊本県　災害時交通マネジメント検討会」を設置し、被災状況の情報共有や今後の対応について意見交換を実施。
○通行止めしていた九州自動車道等の復旧見通しをお知らせするため、現地に案内看板を設置。
○八代JCT～八代南ICの通行止めが継続されることから、交通の分散を図るため、迂回路案内を実施。

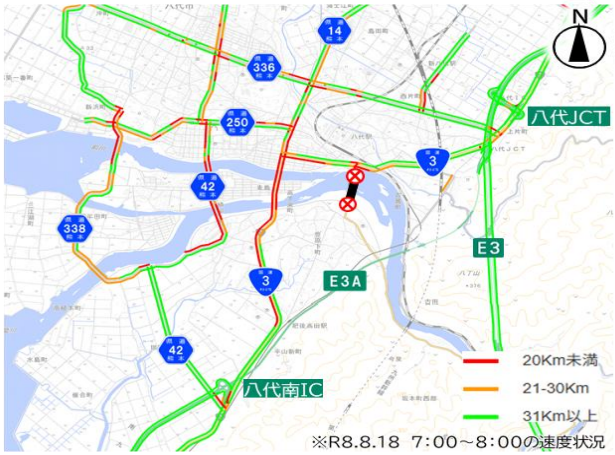
道路復旧見える化プロジェクト



▲県道338号横江大橋の設置状況



▲国道3号の設置状況



▲八代JCT～八代南IC通行止めによる周辺道路の速度状況



▲迂回路案内の強化



▲通行止めによる迂回路のご案内
（九州地方整備局・NEXCO西日本）

3.被災状況・応急復旧等（河川）

九州地方整備局
Kyushu Regional Development Bureau

○ 発災後、堤防等の緊急点検を実施し、球磨川では河川堤防等44箇所の変状を確認。
○ 44箇所の変状のうち、緊急的な復旧工事が必要な3箇所を確認。

【河川管理施設変状状況】
球磨川水系　４４箇所

「令和８年熊本地震」　球磨川堤防等緊急点検結果
（八代河川国道事務所管内　８月２日時点）



【 直轄河川における被害状況 】

河川名	変状箇所
球磨川	44箇所
白川	3箇所
緑川	44箇所
合計	91箇所

3.被災状況・応急復旧等（河川）

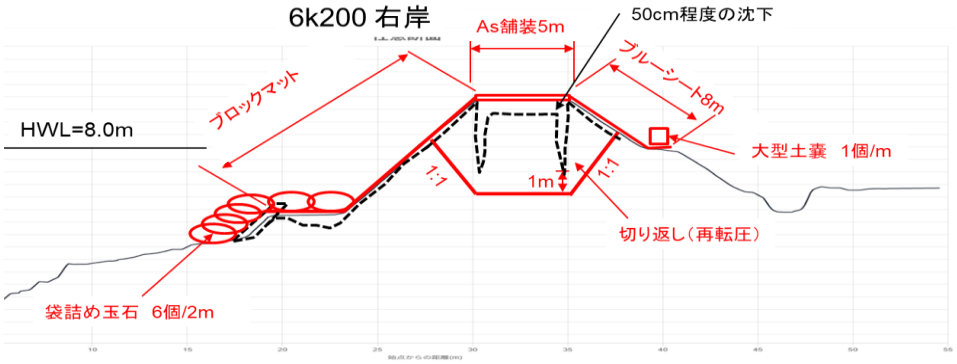
○ 河川堤防の変状が確認された球磨川において、7月29日に緊急復旧工事に着手。
なお、復旧にあたっては、専門家（国土技術政策総合研究所等）による技術指導を踏まえ実施。



▲ 専門家（国総研・土研）による調査（球磨川6k200付近）



▲ 専門家（国総研・土研）による調査結果の報告



▲ 緊急復旧工法（球磨川6k200付近）



▲ 緊急復旧工事に着手（球磨川6k200付近）

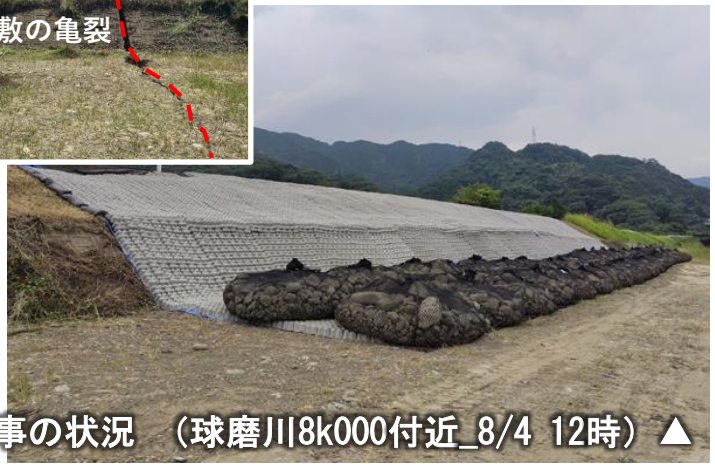
3.被災状況・応急復旧等（河川）

○ 7月29日から着手した球磨川の緊急復旧工事について、8月7日に全ての工事が完了。



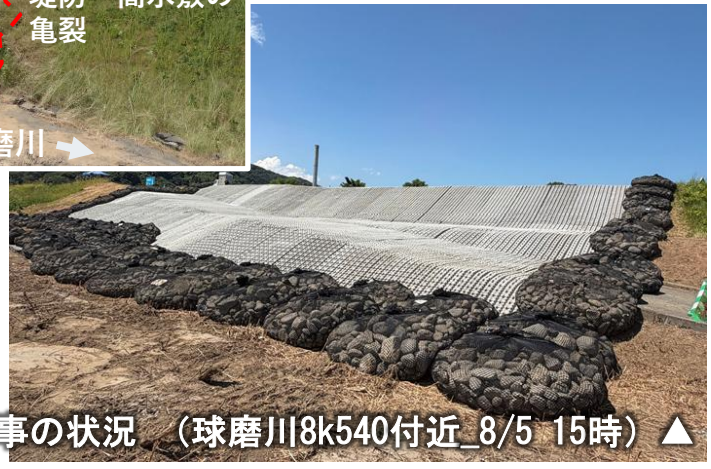
▲ 緊急復旧工事の状況　（球磨川6k200付近_7/31　22時）





緊急復旧工事の状況　（球磨川8k000付近_8/4　12時）▲





緊急復旧工事の状況　（球磨川8k540付近_8/5　15時）▲





緊急復旧工事の状況　（球磨川6k200付近_8/7　18時）▲

3.被災状況・応急復旧等（砂防）

九州地方整備局
Kyushu Regional Development Bureau

○ 7月29日から防災ヘリにて土砂災害状況の上空調査を実施。調査結果を熊本県及び長崎県に情報提供。


▲ 防災ヘリにて土砂災害調査を実施



▲ 一部崩落により砂煙が発生（雲仙普賢岳）

「溶岩ドーム崩壊危険度判定臨時分科会」の結果
・現時点では、大きな崩落につながる兆候はみられていない
・今後の降雨により下流の保全家屋等に影響が出る可能性は低い


▲ 防災ヘリによる空中からの調査（芦北町）



▲ 防災ヘリによる空中からの調査（島原市）

3．被災状況調査・応急復旧等（港湾）

○ 7月29日から、専門家（国土技術政策総合研究所、港湾空港技術研究所）と連携し、被災した八代港の岸壁の使用可否判定と応急復旧を迅速に実施。その結果、地震発生の翌日から支援船の入港が実現した。









3．被災状況調査・応急復旧等（港湾）

○ 8月12日から、詳細調査の結果を受けた専門家（国総研、港空研）を中心とした専門的検討及び応急復旧工事により、貨物船利用のさらなる拡大が可能となった。8月24日に大型貨物船によるトウモロコシ（飼料原料）の輸入、9月2日に原木の輸出、10月26日にコンテナ貨物の取り扱いが再開した。



▲専門家等との検討会議


▲応急復旧工事の実施


▲応急復旧工事の実施


▲大型貨物船の荷役状況（令和8年8月24日）


▲コンテナ貨物の荷役状況（令和8年10月26日）

3.被災状況・応急復旧等（官庁施設）

○ 7月28日から被災した官庁施設の被災状況を調査するため、職員を派遣。被害のあった庁舎について、応急復旧方法の助言等、施設管理者に対する技術支援を実施。



▲発災後の施設管理者点検への遠隔支援



▲被災した官庁施設の被災状況調査


▲被災した官庁施設の被害状況調査



▲復旧計画立案への支援

4.被災地・自治体支援（照明車・給水車・対策本部車派遣）

九州地方整備局
Kyushu Regional Development Bureau

○ 全国各地から、災害対策車（照明車、給水車、対策本部車等）延べ52台が稼働。（九州地整28台、他地整24台_令和8年8月19日現在）
○ 7月30日、懸命な救助活動が続く「イオンモール熊本」へ、九州地方整備局の照明車を5台派遣し、夜間救助活動を支援。



▲ イオンモール熊本の夜間救助活動を支援



▲ 全国から照明車派遣



▲ 全国から給水車派遣



▲ 対策本部車の配備状況
（熊本県　県南広域本部/八代河川国道事務所）

4.被災地・自治体支援（給水支援、入浴支援）

九州地方整備局
Kyushu Regional Development Bureau

○日本水道協会、自衛隊等による給水活動と調整、避難所・医療機関、福祉施設などの重要施設の給水ニーズを把握。最大で214台の給水車をはじめ、水資源機構による可搬式浄水設備の設置等による応急給水の量や頻度を向上。（9月30日をもって国土交通省・日本水道協会・水資源機構等における給水活動支援は終了）
○九州地方整備局の船舶「海輝（かいき）」「海煌（かいこう）」による給水支援のほか、北陸地方整備局「白山」、中部地方整備局「清龍丸」による給水支援、入浴支援等を実施。



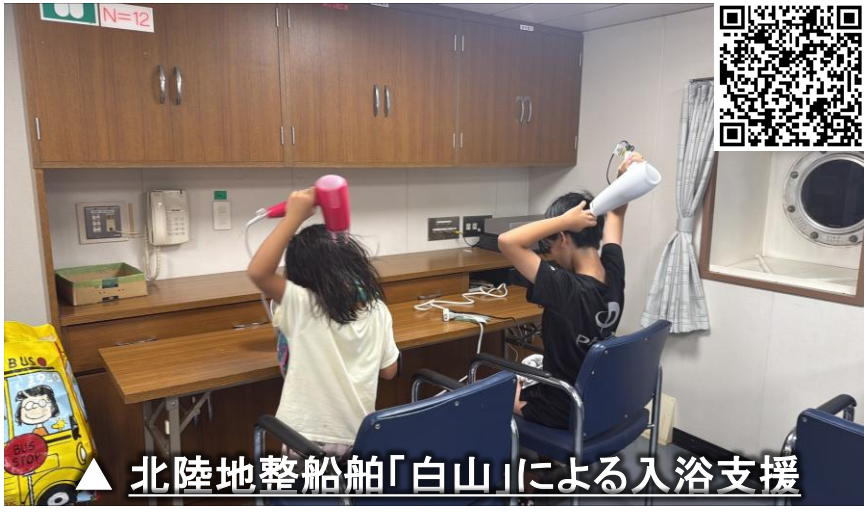
▲被災地各所における給水支援



▲氷川町設置の可搬式浄水設備



▲海洋環境整備船「海輝（かいき）」「海煌（かいこう）」によるドライブスルー方式での給水支援



▲北陸地整船舶「白山」による入浴支援

4.被災地・自治体支援（防災用コンテナ型トイレ派遣）

九州地方整備局
Kyushu Regional Development Bureau

10/31（金）時点

○被災地支援として、上下水道等、公共インフラの機能が停止した地域のトイレ環境改善のため、7月31日から国が所有する「防災用コンテナ型トイレ」15基（近畿：6、四国：4、中国：1、九州：4）を被災地へ派遣

【位置図】



派遣先（8基）：内1基配置換え

【道の駅】		【派遣市・町】
①道の駅「ゆふいん」：九州地整	⇒	美里町（美里町カントリーパーク）
②道の駅「あぐり窪川」：四国地整	⇒	氷川町（竜北グランド）
③道の駅「掛合の里」：中国地整	⇒	氷川町（竜北グランド）
④道の駅「都城NiQLL」：九州地整	⇒	氷川町（氷川町伝承館）
	⇒	【配置換え】氷川町竜北中学校
⑤道の駅「うきは」：九州地整	⇒	八代市（八代市鏡支所）
⑥道の駅「シーサイド高浜」：近畿地整	⇒	氷川町（道の駅「竜北」）
⑦道の駅「みやま」：福岡県	⇒	氷川町（屋内ゲートボール駐車場）
⑧道の駅「たるみずはまびら」：九州地整	⇒	宇城市（小川総合文化センター）

追加派遣先（8基）

【道の駅】		【派遣市・町】
⑨道の駅「但馬のまほろば」：近畿地整	⇒	八代市（八代市 鏡支所）
⑩道の駅「塩津海道あぢかまの里」：近畿地整	⇒	八代市（八代市千丁ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ）
⑪道の駅「針テラス」：近畿地整	⇒	八代市（八代市 千丁支所）
⑫道の駅「すさみ」：近畿地整	⇒	八代市（八代市 千丁支所）
⑬道の駅「和」：近畿地整	⇒	氷川町（道の駅「竜北」）
⑭道の駅「貞光ゆうゆう館」：四国地整	⇒	宇城市（宇城市役所（本庁））
⑮道の駅「滝宮」：四国地整	⇒	宇城市（宇城市役所（本庁））
⑯道の駅「天空の郷さんさん」：四国地整	⇒	宇城市（小川町総合文化センター）



▲「道の駅うきは（福岡）」からコンテナトイレ支援


▲八代市鏡支所の配備・活用状況

⑧⑯小川総合文化センター：2基
道の駅「たるみずはまびら」・「天空の郷さんさん」
：撤去済

⑦氷川町屋内
ゲートボール駐車場
道の駅「みやま」：撤去済

②③竜北グランド：2基
道の駅「あぐり窪川」・「掛合の里」
：撤去済

⑨八代市（八代市鏡支所）
道の駅「但馬のまほろば」：運用中

⑤八代市鏡支所
道の駅「うきは」：運用中

⑥道の駅「竜北」
道の駅「シーサイド高浜」：運用中

⑩八代市千丁コミュニティセンター
道の駅「塩津海道あぢかまの里」：撤去済

⑪⑫八代市千丁支所：2基
道の駅「針テラス」：撤去済
道の駅「すさみ」：撤去済

⑭⑮宇城市役所（本庁）：2基
道の駅「貞光ゆうゆう館」・「滝宮」
：撤去済

【凡例】
：派遣先
：追加派遣先
：撤去済・予定

①美里町（美里町カントリーパーク）



道の駅「ゆふいん」：撤去予定

⑬氷川町（道の駅「竜北」）



道の駅「和」：運用中

④氷川町（竜北中学校）



道の駅「都城NiQLL」：撤去予定

4.被災地・自治体支援（スターリンク、DX機材派遣）

○回線業者の通信基地局が停電や被災したことにより広範囲に通信障害が発生。宇城市、美里町にスターリンクを設置し、 通信状況の改善支援を実施。
○360度カメラ、レーザースキャナ測量等のDX機材を用いて早く、広く、分かりやすく被災状況を報告。





▲ 美里町役場におけるスターリンク設置状況



▲ 宇城市に360度カメラで撮った画像で被災状況を報告



▲ レーザースキャナ測量データに基づく調査報告

5.建設業界の活躍（飲料水やブルーシート等の支援）

九州地方整備局
Kyushu Regional Development Bureau

○7月31日から、自治体からの支援要請に対し、「九州地方整備局」と「日本建設業連合会九州支部」との災害協定に基づき、支援物資（飲料水約8,500本、ブルーシートや土のう等）の運搬・搬入などを実施。さらに「日本埋立浚渫協会九州支部」と「熊本県港湾建設協会」が災害協定に基づき、飲料水や食料等の支援物資を避難所等へ運搬・搬入などを実施。
○急務となった被災家屋へのブルーシート張り作業は、「熊本県建設業協会」が熊本県の要請により実施。



▲宇土アリーナへ飲料水約8,500本を支援


▲ 被災家屋のためのブルーシート支援



▲ 自治体に向け、土のうを支援



▲名古屋港からの支援物資を八代港へ荷下ろする状況
八代市総合体育館に搬入。

5.建設業界の活躍（24時間体制による復旧作業）

九州地方整備局
Kyushu Regional Development Bureau

○地域の建設業者は、被災地域の一刻も早い復旧のため、現場気温38度を超える過酷な現場環境の中で復旧作業に全力対応。



▲日奈久ICの路面の舗装補修



▲24時間体制による球磨川の緊急復旧工事


▲協力会社の皆様と作業内容等の確認



▲ こまめな水分・塩分補給など体調管理に留意

6.SNS等による情報発信

九州地方整備局
Kyushu Regional Development Bureau

○ 九州地方整備局では、ホームページに特設ページを開設、またSNS（X(旧:Twitter)）を活用し、
復旧活動の状況や道路情報等を発信。



ＨＰに特設ページを開設



△「緊急復旧」したことをＸにて情報発信
一晩での復旧が関心を呼び、建設業界の活躍を広く拡散



△２４時間体制での応急復旧を発信
台風も近づいていたことから、感謝の声が多く寄せられた

毎日仕事で利用する道なので迅速に復旧していただき本当に感謝しています。（Ｘ投稿より）

暑いこの季節に昼夜を問わず復旧に携わる全ての方に感謝です。（Ｘ投稿より）



△被災地周辺の「通れるマップ」をＨＰで公開

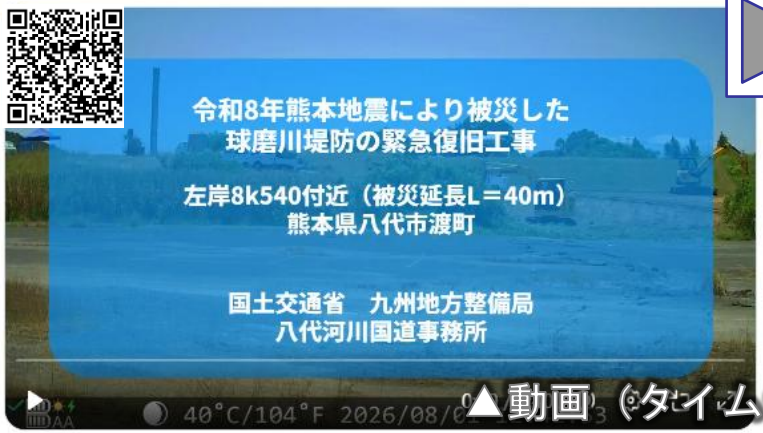
6.SNS等による情報発信

九州地方整備局
Kyushu Regional Development Bureau

〇SNS投稿時は動画(タイムラプス等)を活用し分かりやすく工事のスピード感や状況を発信。
〇支援物資の情報発信を行い、関係省庁の投稿についてもリポストで拡散し、支援情報の展開を補助。

国土交通省八代河川国道事務所
@mlit_yatsushiro

#令和8年熊本地震 で被災した #球磨川 左岸8ｋ540付近の堤防の緊急復旧工事が完了しました。
工事開始から完了までの様子をショート動画で公開します。
#復旧 の最前線をぜひご覧ください。
引き続き、一日も早い復旧・復興に向けて取り組んでまいります。
#八代











▲動画（タイムラプス）を活用し現場状況を発信

国土交通省九州地方整備局
@mlit_Kyushu

【新たにコンテナトイレが到着】
#近畿地方整備局 が #道の駅シーサイド高浜 （福井県高浜町）で保管していたコンテナトイレが #道の駅竜北 に到着しました。
ぜひご利用ください。
#九州地方整備局 #災害支援 #令和8年熊本地震



国土交通省九州地方整備局
@mlit_Kyushu

【宇城市役所で給水支援を実施】
#令和８年熊本地震 の被災地支援として宇城市役所で給水しました。
大規模な断水が続く中、多くの皆さまにご利用いただきました。
引き続き、被災された方の生活支援、被災地の早期復旧・復興に向けて取組を続けます。
#給水支援 #宇城市役所 #TECFORCE



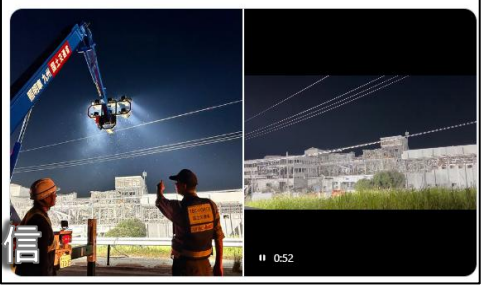
国土交通省 九州地方整備局 港湾空港部
@mlit_kyushu_kou

八代港では、明日も同じ場所・時間で給水支援を実
現在、数多くの支援船が給水支援等を行っていただ
では九州地方整備局で所有する「海輝（かいき）」
が行っています。
普段は海輝が熊本港、海煌が八代港を拠点にしており、現在は熊本港を拠点として２船が連携して水などの補給を行っています。
#令和8年熊本地震 #国土交通省 #八代市 #八代港



国土交通省九州地方整備局
@mlit_Kyushu

【救助活動が続く現場を照らします】
現在も懸命な救助活動が続く #イオンモール熊本 で九州
車を5台派遣し、夜間救助活動の支援を行っております。
#令和8年熊本地震 #照明車　#災害支援



▲被災状況だけではなく支援物資関係についても発信
（コンテナトイレ・給水車・仮設資材・災対車 等）

7.国土交通大臣による視察

○8月8日から9日かけて金子国土交通大臣が被災後2度目となる訪問で、令和8年熊本地震の被災箇所確認、
　被災自治体である八代市、氷川町、宇土市、宇城市、美里町、甲佐町を訪問し各首長と意見交換を行いました。
○熊本県庁において、熊本県知事とも意見交換を行いました。その後、現地対策本部に訪問し、激励を行いました。

■視察状況等



▲八代JCT被災箇所


▲球磨川堤防被災箇所



▲八代港被災箇所



▲横江大橋



▲氷川町災害支援状況（浄水装置）


▲仮設住宅建設箇所



▲熊本県庁　意見交換



▲現地対策本部激励

7.国土交通大臣による視察

○令和8年8月22日から23日にかけて、金子国土交通大臣が、令和8年熊本地震による被災現場の3度目の視察を行うとともに、熊本県知事と意見交換を行いました。
○宿泊業・旅行業、水道工事や建設業の関係団体の方々とも意見交換を行いました。

■視察状況等



現地対策本部激励



現地対策本部による被災状況説明


井戸調査


水道被災現場


応急仮設住宅



熊本県管工事業組合連合会　意見交換


建設業協会八代支部　意見交換


建設業協会宇城支部　意見交換

7.国土交通大臣による視察

○令和8年9月26日に、井林国土交通大臣と朝日国土交通副大臣が、令和8年熊本地震による被災現場の視察を行いました。
○熊本空港にて、熊本県知事と面会し復旧状況などの意見交換を行いました。

■視察状況等




八代ＪＣＴ被災箇所視察




井戸復旧状況視察




八代港被災箇所視察



熊本県知事意見交換



ぶら下がり記者会見